

<b>漏電ブレーカ J型</b>  <b>商 品 仕 様 書</b>	J-ELB 30AF
	No. 1
	全 9

1. 商品名 : 漏電ブレーカ J型(過電圧、雷サージ電流対応型)

2. 品番・定格

品番	極数 素子数	定格 電流	定格電圧	定格 感度電流	定格 不動作電流	短絡遮断容量
BJJ 21531W	2P1E	15A	AC100	30mA	15mA	1500A
BJJ 22031W		20A				
BJJ 23031W		30A				

3. 基本特性(上記記載事項以外)

項 目	仕 様 ・ 規 格
1. 漏電動作時間	0.1 秒以内
2. 定格動作過電圧	135 V
3. 定格不動作過電圧	125 V
4. 過電圧動作時間	0.1 秒 ~ 0.5 秒
5. 漏電表示 過電圧表示	機械式突出表示ボタン (漏電、過電圧兼用)
6. 漏電検出 過電圧検出	電子式 (漏電、過電圧兼用)

様		制定日	1997年 3月 3日						
①	2001/04/15 電気用品取締法→電気用品安全方へ変更	部長		課長		検印		作成	
②	2008/10/01 ブランド変更のため								
③	2012/01/01 社名変更のため								
		パナソニック株式会社							

# 漏電ブレーカ J型

J-ELB 30AF

## 商 品 仕 様 書

No. 2

全 9

### 4. 適用規格

- △・電気用品安全法
- ・日本工業規格 (JIS C-8222)

### 5. 外形寸法(別紙参照)

- ・製品重量(2P) 約190g

### 6. 構造一般

#### 6-1) 動作機構

- ・リセット操作を要しないトリップフリー型の速断トグル機構

#### 6-2) 過電流引外し方式

- ・熱動式(バイメタル使用)

#### 6-3) 端子構造及び接続仕様

- ・バネ性当金付ソルダレス端子
- ・8mm<sup>2</sup>電線まで直締付接続可能(電源側・負荷側共)
- ・機器用電線などのより線(1.25~3.5mm<sup>2</sup>)を使用する場合は、棒圧着端子をご使用下さい。

#### 6-4) 主要部品の材料

部品名	材料
ボディ	フェノール樹脂
カバー	
ハンドル	ポリアミド樹脂(ガラス強化ナイロン)
バイメタル	JIS バイメタル材
接点	銀合金
端子板及び導電部	銅合金

#### 6-5) 漏電検出方式

- ・増幅式

#### 6-6) 過電圧検出方式

- ・増幅式

# 漏電ブレーカ J型

J-ELB 30AF

## 商 品 仕 様 書

No. 3

全 9

### 7. 性能及び特性

#### 7-(1) 越流性能

- ・タングステン電球負荷で定格電流に等しい電流を通电しても自動的に遮断せず又接点が溶着しない。

#### 7-(2) 過電流引外し特性

- ・別紙参照 (基準周囲温度 25°C)

#### 7-(3) 漏電引外し特性

- ・定格感度電流の50%を1極に流した時、動作しない事。
- ・定格感度電流の50%から1極に流し増加させた時、100%に達する前に動作する事。
- ・定格感度電流を1極に流した時、0.1秒以内に動作する事。
- ・1極に20Aの電流を流した時、0.1秒以内に動作する事。

#### 7-(4) 過電圧引外し特性

- ・125Vを印加した時、動作しない事
- ・135Vを印加した時、0.1秒以内に動作せず0.5秒以内で動作の事

#### 7-(5) 開閉性能

- ・テスト卸開閉 1000回
- ・定格電流の6倍(最小150A)の電流を手動遮断で35回、自動遮断で15回 計50回
- ・電氣的開閉 6000回、機械的開閉 4000回 計10000回

#### 7-(6) 各部の温度上昇

- ・電源側、負荷側端子部 60°C以下
- ・接点部 100°C以下

#### 7-(7) 衝撃波耐電圧、衝撃波不動作性能

- ・衝撃波電圧 7kV 1×40μs (但し、JIS C-8222の回路による)

#### 7-(8) 各部の絶縁抵抗

- ・各端子間、充電部と大地間及びハンドル“切”位置又は引き外し位置で電源側と負荷側端子間の絶縁抵抗は、下記の事。

各端子間 5MΩ以上(500V絶縁計)

充電部と大地間 5MΩ以上(500V絶縁計)

# 漏電ブレーカ J型

J-ELB 30AF

## 商 品 仕 様 書

No. 4

全 9

### 7-(9) 各部の耐電圧

・7-(8) と同じ間における耐電圧は、1500V 1分間異常なし

### 7-(10) 短絡遮断性能

・定格遮断電流 1500A

### 7-(11) 耐振動性能

・定格電流通電で上下、左右、前後方向で各2時間、下記の振動を加えて異常なし

振動数 16.7Hz

複振幅 4mm

### 7-(12) 耐衝撃性能

・定格電流通電状態における限界衝撃値 196m/s<sup>2</sup> {20G}

### 7-(13) 端子締付トルク

・1.6~2.0N・m (ネジ径M5)

## 8. 使用環境条件

・使用温度範囲 -10℃~50℃

・使用相対湿度 45%~85%

〔 但し、周囲温度に依る定格電流の  
低減率は温度補正表によること 〕

## 9. 誤動作補償ラベル

### 9-(1) 対地静電容量

・0.1μFにて不動作

### 9-(2) 開閉サージに対する性能

・サージ電圧 1KV サージ幅 1μs 電磁開閉器コイルサージにて不動作

### 9-(3) 高周波に対する性能

・144MHz 432MHz 出力各10W アンテナより1mの位置にて不動作

### 9-(4) 平衡特性

・定格電圧を印加し、試験電流(定格電流×6)を10秒間隔3回通電にて不動作

# 漏電ブレーカ J型

J-ELB 30AF

## 商 品 仕 様 書

No. 5

全 9

### 10. 使用注意事項

- ・電源側、負荷側を間違いなく接続して下さい。逆接続はできません。
- ・必ず月に1回以上テスト釦を押して動作の確認をして下さい。
- ・電線接続時、端子ネジは確実に締め付けて下さい。
- ・温度、湿度、粉塵、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な周囲温度での使用はさけて下さい。
- ・2極1素子(2P1E)の製品は、電線の中性線を必ず過電流検出素子のない極(N表示)に接続して下さい。
- ・負荷側の異極絶縁測定は出来ません。
- ・線路の極間絶縁測定は、端子より接続電線ははずしてから実施して下さい。
- ・漏電又は過電流により動作した時は、その原因を取り除いてからハンドルを再投入してください。  
(漏電表示釦が突出していれば漏電か異常電圧動作です)

\*単位系は SI 単位(国際単位)系で表現しています。

カッコ { } 内は従来の単位系の値を示しています。

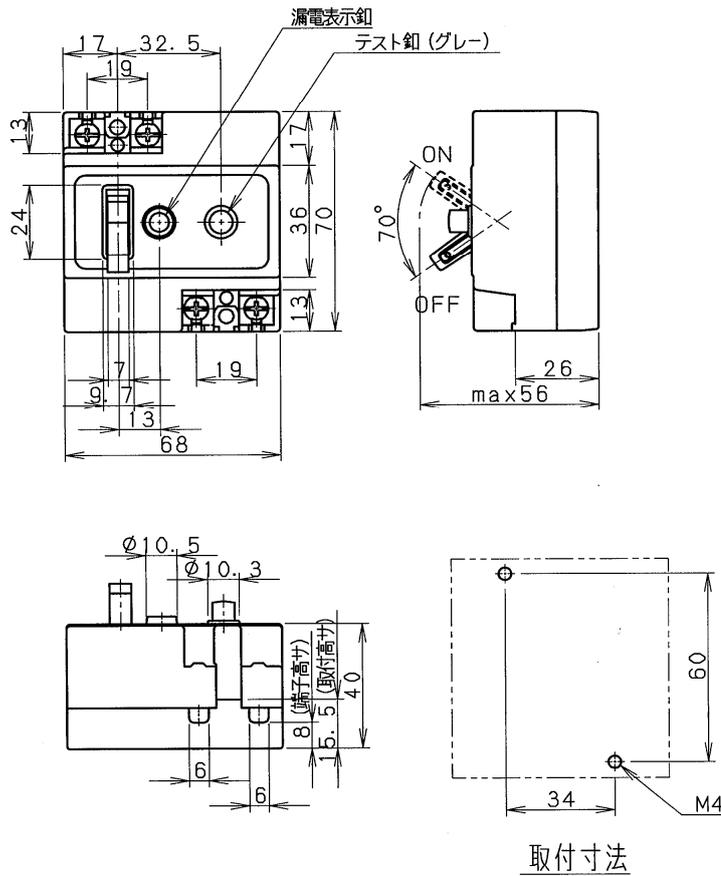
# 漏電ブレーカ J型

J-ELB 30AF

## 商 品 仕 様 書

No. 6

全 9



(注) OC付きは、漏電表示釦あり  
OCなしは、漏電表示釦なし

# 漏電ブレーカ J型

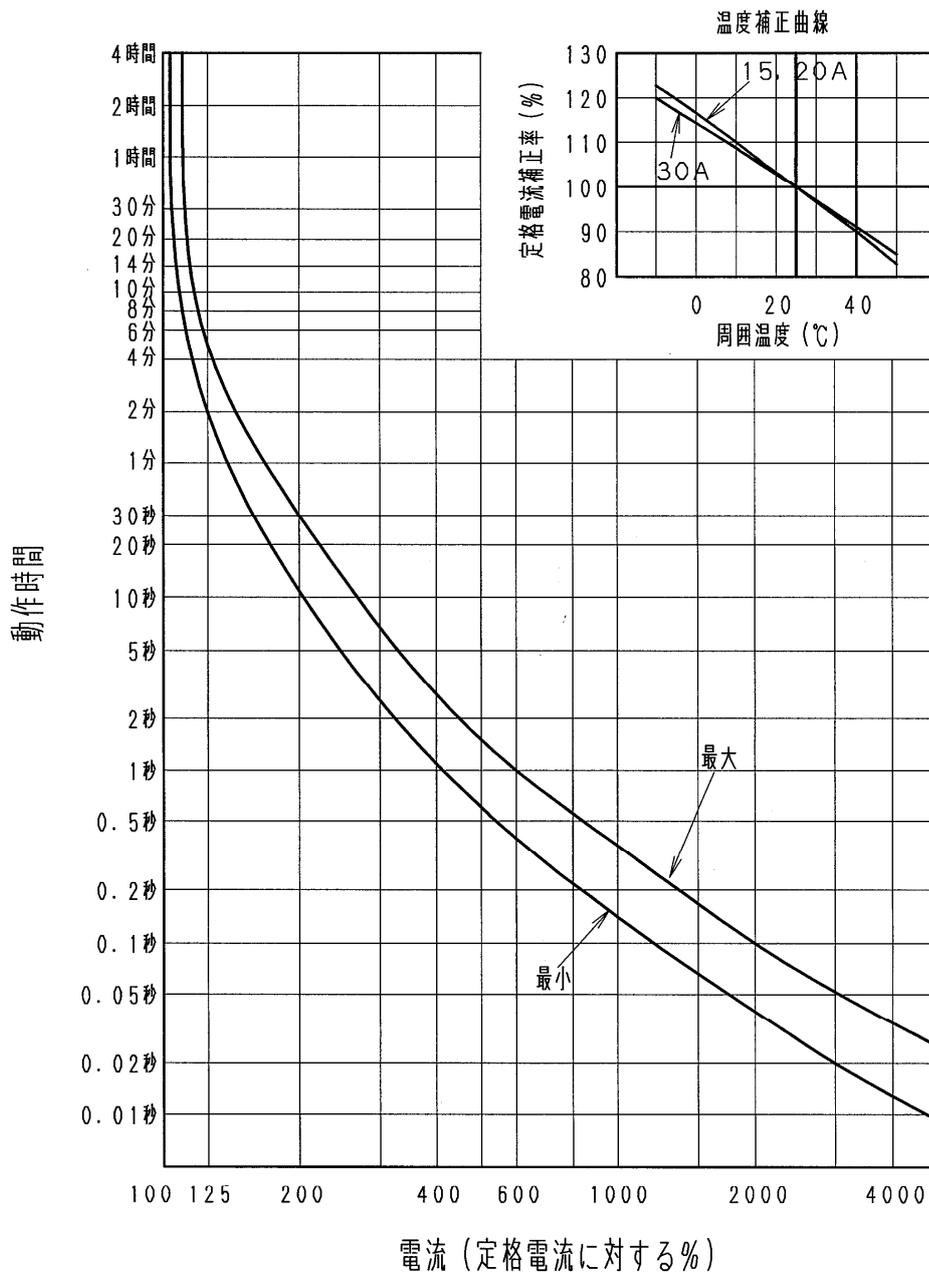
## 商 品 仕 様 書

J-ELB 30AF

No. 7

全 9

□動作特性曲線【基準周囲温度 25℃】



# 漏電ブレーカ J型

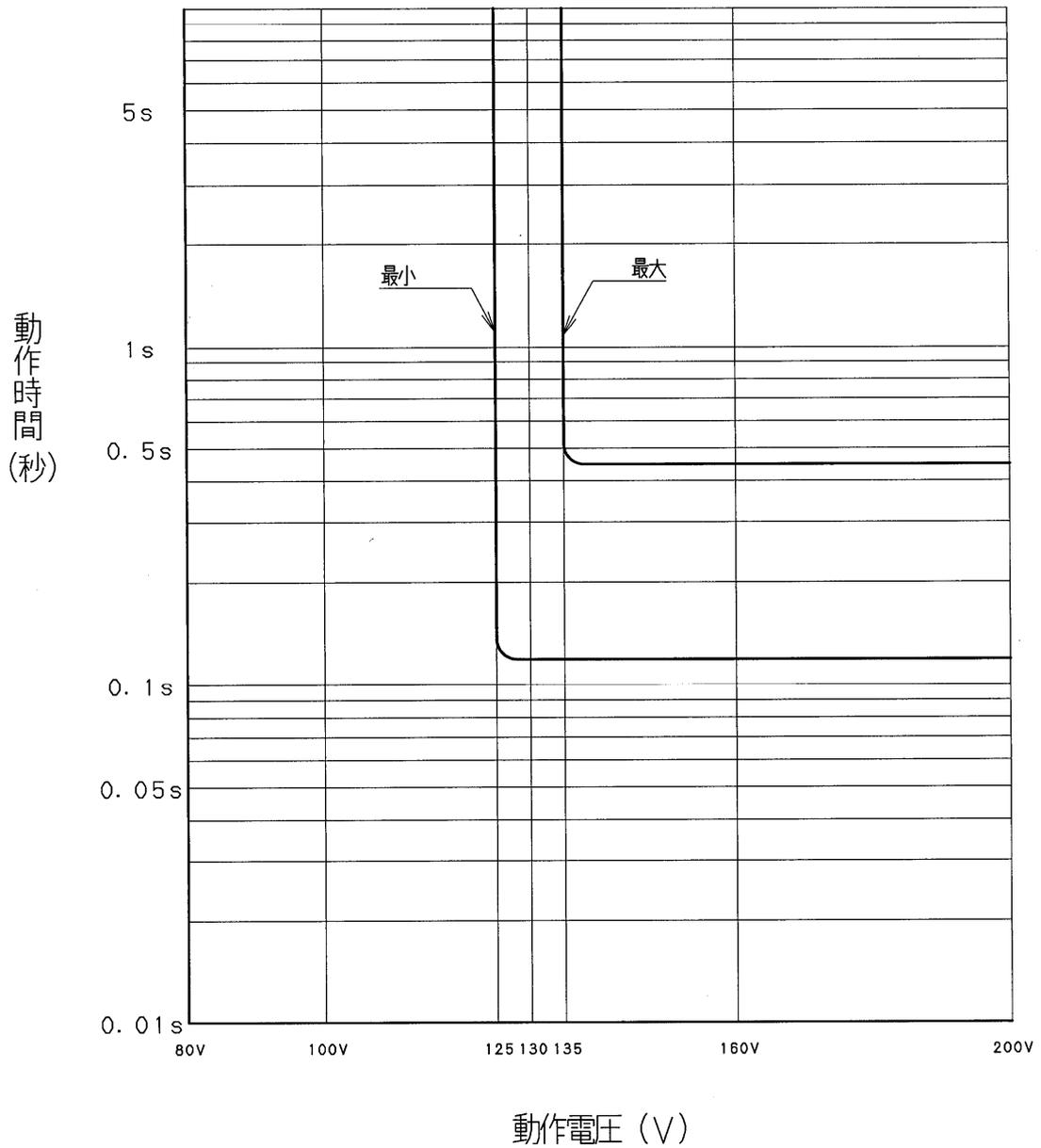
## 商 品 仕 様 書

J-ELB 30AF

No. 8

全 9

過電圧動作特性曲線



漏電ブレーカ J型

J-ELB 30AF

商 品 仕 様 書

No. 9

全 9

漏電動作特性曲線

